2 中核市移行の目的

地方分権の推進、人口減少や少子高齢化などの課題への対応や、安心で住みやすいまちを実現していくためには、市の事務権限を拡大し、これまで以上に自主性、自立性を強化していく必要があります。

今後、ますます多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応し、地域の実情に合ったより質の高い行政サービスを提供していくため、中核市への移行を目指します。

中核市への移行は、本市がさらに発展・成長していくための大きなチャンス、ステップとして位置づけ、以下の目的を設定して移行に取り組んでいきます。

中核市への移行 ▶ まちづくりのステップアップ ▶

【1】市民福祉の向上

基礎自治体として事務権限を拡充し、自らの判断と責任のもと、より身近なところでより多くの行政サービスを担うことにより、市民福祉の一層の向上を図ります。

【2】自立したまちづくり

地域の実情を踏まえた市独自の基準を設定するなど工夫を凝らし、自主性と自立性を備えたまちづくりを進めます。

【3】魅力あるまちづくり

尾張地域の拠点都市として存在感を高め、当市のイメージアップを図るとともに、都市としての活力を高め、多くの方から選ばれる魅力あるまちづくりを進めます。